

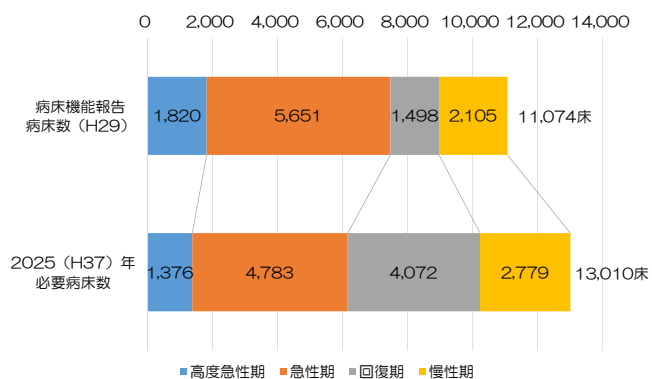
東葛南部地域の現状 について

1

1. 病床機能の現状

2

医療機能別病床数（東葛南部地域）



3

まとめ1

- 高度急性期・急性期は、2025年目標値より過剰（1,312床過剰）。
- 回復期・慢性期は、2025年目標値より不足（3,248床不足）。

4

2. 追加可能受入病床

5

回復期の区分け

回復期はわかりづらいので2つの機能に分けて議論する。

- 回復期リハビリテーション病棟
- 回復期リハビリテーション病棟以外
—在宅に向けての調整等

6

設問

- 現状で、あとの程度患者さんを受け入れられますか？
- 医師・看護師等のスタッフが確保できれば、あとの程度患者さんを受け入れられますか？

7

追加受入可能病床数（試算）

病床機能区分	許可病床数	追加受入可能数（試算）	
		現在	医師・看護師の人員等の条件が満たされた場合
高度急性期・急性期	7,104床	約680床	約1,030床
回復期（回復期リハ病床を除く）	282床	約40床	約60床
回復期（回復期リハ病床）	1,120床	約110床	約160床
慢性期	2,105床	約70床	約140床
合計	10,611床	約900床	約1,380床

※ 「回復期及び慢性期病床機能の影響に関するアンケート調査」より（H30.7実施）
 ※ 許可病床数は平成29年度病床機能報告（H30.6.13速報値）の病床数
 ※ 追加受入可能数（試算）は、各病院の病床機能区分ごとの許可病床数×追加受入可能な患者割合の合計数により試算

8

医師・看護師の追加必要数（試算）

職種	現在数	追加必要数（試算）
医師	2,233.3	約160
看護師	7,060.5	約470
准看護師	541.2	

※ 「回復期及び慢性期病床機能の影響に関するアンケート調査」より（H30.7実施）
 ※ 現在数は、精神科のみの病院を除く51病院の合計値（ちば医療なびよりH30.5.16抽出）
 ※ 追加必要数（試算）は、各病院の医師・看護師数×追加必要割合の合計数により試算した。

9

まとめ2

- 現状でも、約900床の潜在的な受入れ可能病床がある。その76%は高度急性期・急性期病床。
- 医師・看護師等の条件がそろえば、約1,380床の潜在的に稼働可能な病床があり、その75%は高度急性期・急性期病床。
- この地域の病院で、医師は約160名、看護師は約470名不足している。

10

3. 旧保健所管内ごとの状況

旧保健所管内の区分

- 習志野市、八千代市・・・旧習志野保健所
- 船橋市、鎌ヶ谷市・・・旧船橋保健所
- 市川市、浦安市・・・市川保健所

11

12

3地域・医療機能別病床数 (平成29年度報告)

地域	高度急性期 急性期	回復期		慢性期	合計
		回復期リハ 病棟以外	回復期リハ 病棟		
習志野・八千代	1,698	70	524	629	2,921
船橋・鎌ヶ谷	2,716	160	464	1,104	4,444
市川・浦安	3,057	96	184	372	3,709
東葛南部全体	7,471	326	1,172	2,105	11,074

13

3地域・医療機能別病床数 (人口10万人あたり病床数)

地域	高度急性期 急性期	回復期		慢性期	合計
		回復期リハ 病棟以外	回復期リハ 病棟		
習志野・八千代	461.3	19.0	142.3	170.9	793.5
船橋・鎌ヶ谷	366.0	21.6	62.5	148.8	598.9
市川・浦安	470.3	14.8	28.3	57.2	570.6
東葛南部全体	424.5	18.5	66.6	119.6	629.2
県全体	493.6	25.5	62.1	175.2	756.5

14

前回の病床配分 (H29.2) で今後整備される病床①

- 病院名 タムス浦安病院 (新設)
- 開設者 医療法人社団城東桐和会
- 所在地 浦安市高洲7-21-3
- 開設年月日 (予定) 平成31年4月1日
- 病床数・病床機能区分 (予定)
 - 回復期リハ病棟 134床 (回復期)
 - 地域包括ケア病棟 45床 (回復期) 計200床
 - 緩和ケア病棟 21床 (慢性期)
- 診療科目 (予定)
 - 内科・リハビリテーション科・精神科・緩和ケア科・耳鼻咽喉科

15

前回の病床配分 (H29.2) で今後整備される病床②

- 病院名 医療法人社団碩成会 島田台総合病院
- 所在地 八千代市島田台887-7
- 整備年月日 平成33年3月までに整備予定
- 許可病床数 (配分前) 240床
 - 急性期病棟 60床 (急性期)
 - 慢性期病棟 180床 (慢性期)
- 病床数・病床機能区分 (増床分予定)
 - 地域包括ケア病棟 100床 (回復期)

16

3地域・医療機能別病床数 (人口10万人あたり病床数)

※ 済生会習志野病院400床のうち200床を船橋・鎌ヶ谷地区分として計上し、前記2病院分を追加計上した場合

地域	高度急性期 急性期	回復期		慢性期	合計
		回復期リハ 病棟以外	回復期リハ 病棟		
習志野・八千代	406.9	46.2	142.3	170.9	766.3
船橋・鎌ヶ谷	393.0	21.6	62.5	148.8	625.9
市川・浦安	470.3	21.7	48.9	60.5	601.4
東葛南部全体	424.5	26.8	74.2	120.8	646.2
県全体	493.6	25.5	62.1	175.2	756.5

17

急性期後の受入先施設の入所定員数

市町村	慢性期病床	介護医療院	老人保健施設	老人福祉施設
習志野市	46	-	229	600
八千代市	583	-	300	622
鎌ヶ谷市	755	-	260	540
船橋市	349	-	1,315	2,097
市川市	287	-	1,000	1,135
浦安市	85	-	100	345

※慢性期病床はH29病床機能報告による報告数
※老人保健施設、老人福祉施設はH30.3.31現在の定員数

18

急性期後の受入先施設の入所定員数 (65歳以上10万人あたり)

市町村	慢性期病床	介護医療院	老人保健施設	老人福祉施設
習志野市	118	—	586	1,535
八千代市	1,215	—	625	1,297
鎌ヶ谷市	2,532	—	872	1,811
船橋市	235	—	887	1,415
市川市	288	—	1,002	1,138
浦安市	308	—	363	1,251

19

まとめ3

- 旧保健所管内ごとにまとめると、人口10万人あたりだと、大きな病床数の差はない。
- 病床機能別にみると、回復期リハが習志野市・八千代市（旧習志野保健所管内）で多く、慢性期が市川市・浦安市（市川保健所管内）で少なくなっている。
- リハビリテーション病床は、リハビリテーション病棟協会が目標としていた10万人あたり50床に到達している。

20